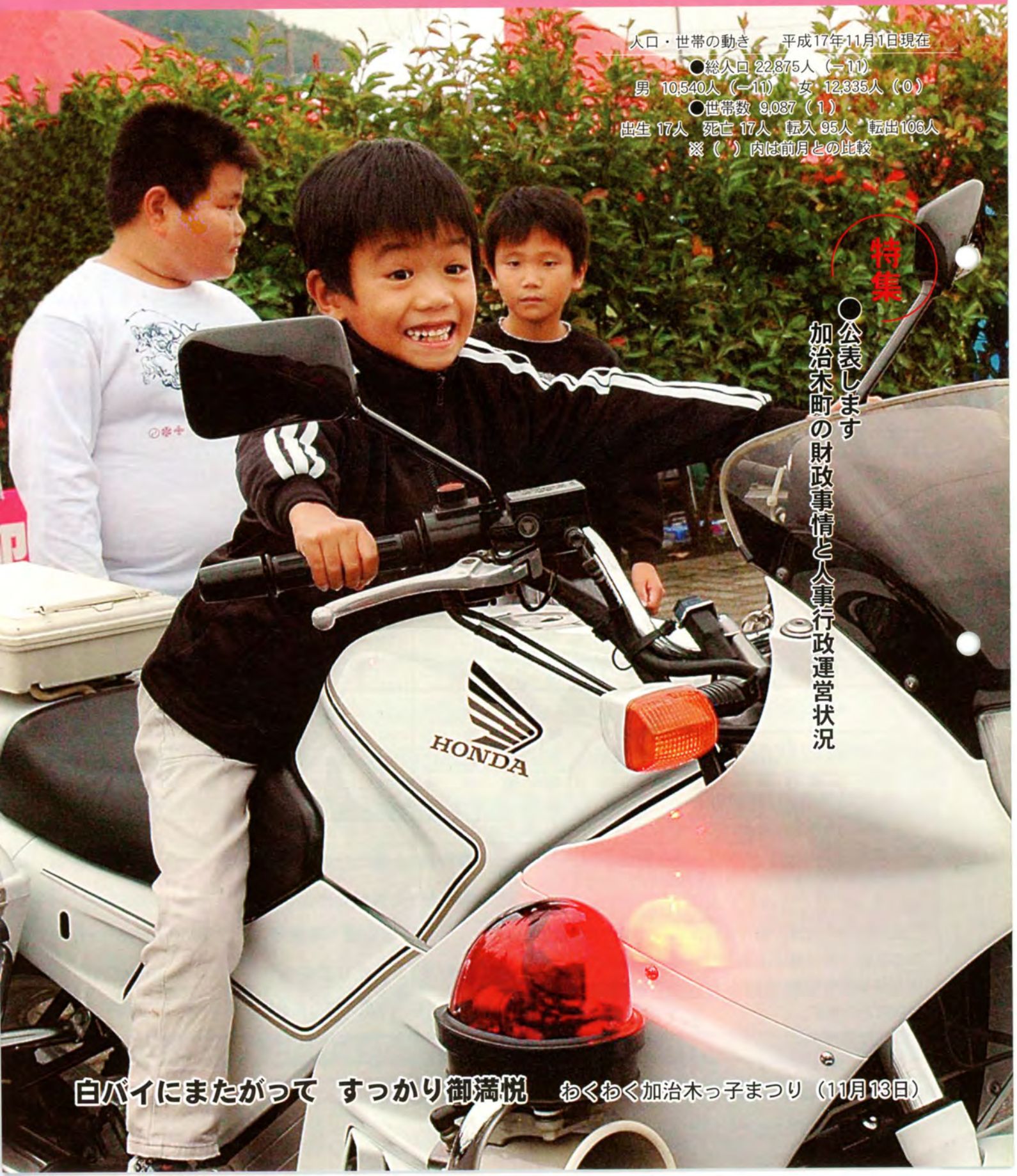
広報

かじき

2005
平成17年
12月号
614号

人口・世帯の動き　平成17年11月1日現在

●総人口 22,875人（−11）
男 10,540人（−11）　女 12,335人（0）
●世帯数 9,087（1）
出生 17人　死亡 17人　転入 95人　転出106人
※（ ）内は前月との比較



特集
●公表します
加治木町の財政事情と人事行政運営状況

白バイにまたがって　すっかり御満悦　わくわく加治木っ子まつり（11月13日）

平成17年度上半期(4月～9月)の財政事情をお知らせします

予算の規模

○一般会計（借換債除く。）

平成17年度一般会計当初予算は68億284万円でスタートし、補正予算で2億3,609万6千円を追加した結果、9月末の予算総額は70億3,893万6,000円となりました。

主な補正予算の内容

鹿児島県市町村土地開発公社からの木田振興地区公共用地買取りのための用地費の計上、加治木小・加治木中が国からの指定を受け「豊かな体験活動推進事業」に取り組むための経費の計上、9月11日投票日の衆議院議員総選挙執行に伴う選挙費の計上、県からの委託を受け「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」のモデル地区として学校の安全を守る体制を整備するための費用、その他「加治木町新行政改革大綱」「集中改革プラン」を策定するための経費の計上及び昨年の台風16号により被災した伊部野集落の農道復旧費や本年度の台風14号等により被災した町有施設や農地・道路などの早期復旧を図るために災害復旧事業を追加計上するとともに、学校等その時々に即した事業も予算措置することとし、当初予算編成後に生じた追加財政需要等について所要の措置を講じました。

○特別会計

補正予算で5,520万4,000円を追加し、予算総額は64億5,253万6,000円となりました。

（単位：千円）

区分	平成17年度当初予算額	9月までの補正予算額	9月現計予算額
簡易水道事業	72,898	0	72,898
地域下水処理事業	39,595	0	39,595
国民健康保険	2,001,303	20,497	2,021,800
老人保健医療	2,915,945	31,282	2,947,227
介護保険	1,365,380	3,425	1,368,805
農林業労働者災害共済事業	2,211	0	2,211
合計	6,397,332	55,204	6,452,536

予算の執行状況

○一般会計予算の執行状況

上半期（9月末）における一般会計の執行状況は、収入額が35億6,609万1千円（収入率50.7％）で支出額が30億174万8千円（執行率42.6％）となっています。

歳入については、地方交付税の収入が上半期に多くなる反面、国・県支出金，町債などについては，その多くが補助事業等の完了にあわせて下半期に多くなる傾向にあります。

歳出については，工事の完成が年度末に多い建設事業費や補助事業等が事業終了後の支払いとなるため支出率が低くなっています。

■町民1人当たりの町税負担額　86,559円

■町民1人当たりの借金　400,206円

（平成16年度末町債残高　91億5,910万6千円）

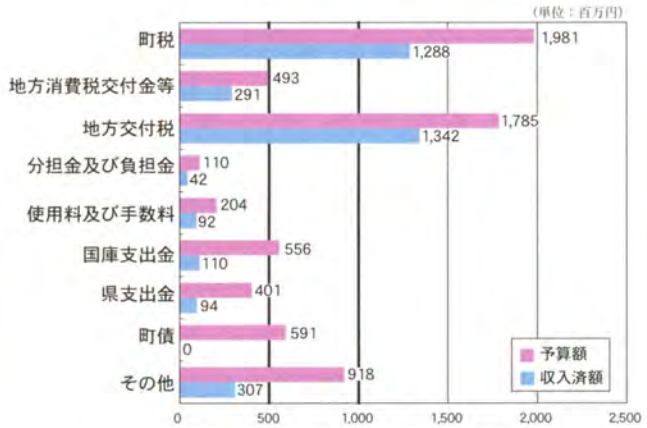
■町民1人当たりの貯金　105,452円

（平成16年度末積立基金現在高 24億1,337万5千円）

※ 人口は，9月末現在の推計人口数値：22,886人

○収　入

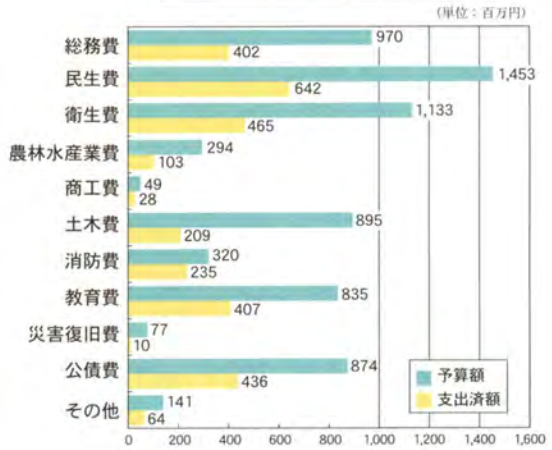
収入総額　35億6,609万1千円
収入率　50.7％



※その他は、諸収入、財産収入、繰入金など。

○支　出

支出総額　30億174万8千円
支出率　42.6％



※その他は、議会費、諸支出金、予備費です。

○特別会計予算の執行状況

(単位：千円、％)

区分	歳入			歳出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
簡易水道事業	72,898	45,116	61.9	72,898	25,420	34.9
地域下水処理事業	39,595	12,108	30.6	39,595	16,359	41.3
国民健康保険	2,021,800	682,589	33.8	2,021,800	925,009	45.8
老人保健医療	2,947,227	1,310,590	44.5	2,947,227	1,348,825	45.8
介護保険	1,368,805	662,434	48.4	1,368,805	566,359	41.4
農林業労働者災害共済事業	2,211	1,475	66.7	2,211	1,268	57.3
合計	6,452,536	2,714,312	42.1	6,452,536	2,883,240	44.7

町の借入金（町債）と返済額（公債費）

町債の平成16年度末現在高は91億5,910万6,000円でしたが、平成17年度上半期の借入額はなく償還額が3億2,347万6,000円でしたので、平成17年9月30日現在の残高は、88億3,563万円となっています。

(単位：千円、％)

借入先		平成16年度末 現在高 A	平成17年度上半期 借入額 B	平成17年度上半期 償還額 C	上半期現在高 A+B−C	構成比
一般会計	財政融資資金	2,745,010	0	103,158	2,641,852	27.6
	簡易生命保険資金	1,388,762	0	51,176	1,337,586	14.0
	郵便貯金資金	287,710	0	5,091	282,619	3.0
	公営企業金融公庫	834,715	0	40,881	793,834	8.3
	鹿児島銀行	3,407,164	0	106,025	3,301,139	34.5
	JAあいら	233,700	0		233,700	2.4
	共済組合等	262,045	0	17,145	244,900	2.6
	特定資金	0	0		0	0.0
	小計	9,159,106	0	323,476	8,835,630	92.4
簡易水道	財政融資資金	625,417	0	8,729	616,688	6.4
	公営企業金融公庫	112,100	0		112,100	1.2
	小計	737,517	0	8,729	728,788	7.6
合計		9,896,623	0	332,205	9,564,418	100.0

加治木町人事行政の運営等の状況について

加治木町人事行政の運営等の状況について、その内容をお知らせします。

●職員の給与の状況

○人件費の状況（平成16年度の普通会計決算）

住民基本台帳人口（平成16年度末）	歳出額（A）	実質収支	人件費（B）	人件費比率（B／A）
22,790人	8,197,617千円	197,623千円	1,677,584千円	20.5%

○職員給与費の状況（平成17年度一般会計当初予算）

職員数（A）（平成17年4月1日）	給与費				一人当たりの給与費（B／A）
	給料	期末・勤勉手当	職員手当	計（B）	
185人	775,606千円	318,779千円	88,657千円	1,183,042千円	6,395千円

（注）職員の給与費は、人件費から共済組合・退職手当組合負担金、特別職の給料、報酬を除いたものです。

○職員の初任給の状況（平成17年4月1日現在）

区分		本町		県	
		初任給	採用２年経過日給料額	初任給	採用２年経過日給料額
一般行政職	大学卒	160,200円	184,400円	170,700円	184,400円
	高校卒	138,800円	154,300円	138,800円	148,500円

（注）県については平成16年4月1日現在のデータです。

○職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成17年4月1日現在）

区分			経験年数　１０年	経験年数　１５年	経験年数　２０年
一般行政職	大学卒	本町	279,400円	338,700円	382,300円
		県	274,621円	350,125円	383,874円
	高校卒	本町	234,600円	279,400円	348,000円
		県	221,223円	277,103円	352,541円

（注）1　該当する経験年数に在職する職員がいないところは、直近の職員の階層から推計しています。
（注）2　県については平成16年4月1日現在のデータです。

○「一般行政職」級別職員数の状況（平成17年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	合計
標準的な職務内容	主事補	主事	相当な経験を有する主事	主任主事	係長	主幹	課長補佐等	課長	
職員数	0人	4人	15人	12人	12人	18人	57人	16人	134人
構成比	0.0%	3.0%	11.2%	9.0%	9.0%	13.4%	42.5%	11.9%	100.0%
1年前の構成比	1.5%	5.8%	10.1%	7.3%	10.1%	20.3%	33.3%	11.6%	100.0%

（注）1　職員の給料に関する条例に基づく級別区分による職員数です。
　　2　標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

○国との給料月額の水準比較（ラスパイレス指数）の状況

年　度	平成１２年度	平成１３年度	平成１４年度	平成１５年度	平成１６年度
一般行政職	99.7	100.6	101.0	99.8	97.3

○特別職の報酬等の状況（平成17年4月1日現在）

区分		月額	期末手当
給料	町長	863,000円	支給割合
	助役	682,000円	6月期
	収入役	643,000円	1.60月分
報酬	議長	342,000円	12月期
	副議長	282,000円	1.70月分
	常任委員長	274,000円	計
	議員	256,000円	3.30月分

○職員の平均年齢の状況（平成17年4月1日現在）

区分	一般行政職		技能労務職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
本町	356,300円	43.6歳	337,600円	44.1歳
県	351,100円	41.9歳	325,000円	43.0歳

(注)1 県については平成１６年４月１日現在のデータです。

2 平均給料月額は、本町、県それぞれ在職している職員の平均年齢で示しています。

○職員手当の状況（平成17年4月1日現在）

区分		期末手当	勤勉手当	国
期末・勤勉手当	6月期	1.40月分	0.70月分	同じ
	12月期	1.60月分	0.70月分	
	計	3.00月分	1.40月分	
	職制上の段階などによる加算措置 有			
退職手当	支給率	自己都合	定年	同じ
	勤続20年	21.00月分	34.65月分	
	勤続25年	33.75月分	44.55月分	
	勤続35年	47.50月分	62.70月分	
	最高限度額	60.00月分	62.70月分	
	その他の定年前早期退職特別措置（2%～20%）			同じ

区分	本町	国
扶養手当	配偶者 13,500円 扶養親族２人まで、１人につき 6,000円 扶養親族でない配偶者を有する場合 扶養１人目 6,500円 ２人目 6,000円 配偶者がいない場合扶養１人目 11,000円 ２人目 6,000円 その他の扶養１人につき 5,000円 満16歳～22歳の子１人につき 5,000円	同じ
住居手当	借家借間で家賃を支払っている職員 最高限度額 27,000円 自己所有 3,000円	同じ (自己所有は異なる)
通勤手当	公共交通機関利用者全額支給 交通用具使用者で通勤距離が片道2km以上2,000円～ 以下、距離毎に異なる 最高15km以上10,000円	一部異なる

○特殊勤務手当

職員全体に占める手当支給職員の割合	19.02%
支給対象職員１人当たり平均支給年額	19,374円

手当の名称		
	税務手当	消防自動車乗務手当
	防疫手当	業務手当
	行旅病人及び行旅死亡人取扱手当	検針手当
	現金出納手当	停水手当
	母子指導員手当	水中作業手当
	特殊自動車乗務手当	

○時間外勤務手当

区分	支給総額	職員1人当たり支給年額
平成16年度	38,739千円	233,367円
平成15年度	39,996千円	240,939円

●職員の任免に関する事項

○職員採用の状況（平成16年度）

区　分	競争試験		
	男性	女性	計
一般行政職	3人	5人	8人
技能労務職	0人	0人	0人
計	3人	5人	8人

○職員の退職の状況（平成16年度）

定年退職	3人
勧奨退職	1人
普通退職	0人
分限免職	0人
懲戒免職	0人
失　職	0人
死亡退職	1人
計	5人

○部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

部門＼区分		職員数		増減
		平成16年	平成17年	
一般行政部門	議　会	3人	3人	0
	総務企画	50人	46人	△4人
	税　務	14人	14人	0
	民　生	23人	23人	0
	衛　生	12人	12人	0
	農林水産	17人	16人	△1人
	商　工	2人	2人	0
	土　木	17人	17人	0
	小　計	138人	133人	△5人
特別行政部門	教　育	44人	46人	2人
公営企業等会計部門	水　道	11人	11人	0
	国　保	5人	5人	0
	下　水	1人	1人	0
合　計		199人	196人	△3人

○職種別職員数の状況

部門	平成17年
一般行政職	134人
税　務　職	14人
看護・保健職（保健師）	5人
福祉職（保育士）	4人
企　業　職	11人
技能労務職	22人
教育公務員	6人
計	196人

○職員の定員の状況（平成17年4月1日現在）

定　数	205名	9名欠員

●職員の勤務時間その他の勤務条件

○職員の勤務時間（標準的なもの）

1週間の勤務時間	開始時間	終了時間	休息時間	休憩時間
38時間45分	8:30	17:00	12:00 ～ 12:15	12:15 ～ 13:00

○年次有給休暇の取得状況（平成16年1月1日～平成16年12月31日）

総付与日数	総使用日数	対象職員数	平均使用日数	取得率
4,839日	1,348.9日	123人	11日	27.9%

※対象職員数は、平成16年1月1日から平成16年12月31日まで全期間在職した一般職員数

○時間外勤務及び休日勤務等の状況（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

時間外・休日勤務総時間	職員一人あたりの平均時間
15,432	93.0

※代休振替対象は除く。

○育児休業の状況（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

区　　分	男性	女性
新たに育児休業を取得したもの	0人	3人
前年度から引き続いているもの	0人	1人

●職員の分限及び懲戒処分の状況

○分限処分者数（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

区　　分	降任	免職	休職	降給	計
勤務実績が良くない場合	0	0	0	0	0
心身の故障の場合	0	0	2	0	2
職に必要な適格性を欠く場合	0	0	0	0	0
職制、定数の改廃、予算の減少により廃職、過員を生じた場合	0	0	0	0	0
刑事事件に関し、起訴された場合	0	0	0	0	0

○懲戒処分者数（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

区　　分	戒告	減給	停職	免職	計	訓告	注意
法令に違反した場合	0	0	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反した場合	0	0	0	0	0	0	0
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	0	0	0	0	0	0	0

●職員の研修及び勤務成績の評定の状況

○研修機関における研修の状況（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

研　修　名	研修回数	参加者数（延べ人数）	修了者数（延べ人数）
新規採用職員研修	2回	17人	17人
階層別職員研修	6回	25人	25人
能力開発・向上研修	9回	22人	22人

○評定の状況（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

評定の回数	4回
評定の時期	3月　6月　9月　12月
評定の対象人数	193人

●職員の福祉及び利益の保護の状況

○健康診断の状況（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

健康診断の種類	対象者数	受診者数
人間ドック	207人	65人
定期健康診断	207人	167人

※非常勤職員を含む

●勤務条件に関する措置の要求の状況（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

継続件数	措置要求件数
0件	0件

●不利益処分に関する不服申し立ての状況（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

継続件数	不服申立件数
0件	0件

さて、相手の手の内は何本か

なんこと焼酎を楽しむ
勝負のたびに一喜一憂

第三十四回薩摩なんこ大会が十一月十一日、商工会館で開催され、百五十名余りのなんこ愛好者で賑わいました。

なんこは長さが十センチ程の「なんこ玉」と呼ばれる棒を互いに三本ずつ持ち、このうち数本を手に隠して前に差し出し、二人の合計本数を当てるゲーム。

参加者たちは対戦相手の仕草や表情などから数を推測。鹿児島信用金庫チームの上崎克典さんは「簡単なようで奥が深い。初出場ですが初心者にも勝ち目はあるはず。」と職場の仲間となんこを楽しんでいました。

【成績】
▽団体戦優勝―蔵王病院A（秋窪大、東裕治、弥栄博文）
▽個人戦優勝―西倉　厚
▽女王戦優勝―郡山恵理子

世界平和を願い献花
戦没者追悼式

加治木町戦没者追悼式が十一月十一日、福祉センターでしめやかに行われ、遺族や遺児など関係者約六十人が参列。戦没者の冥福を祈りました。

川野威朗町長が「終戦から六十年が過ぎ去りました。戦争の悲惨さを語り継ぎ、世界平和のために努力していきます。」と式辞。遺族を代表して、越牟田頼子さんが「みんなが今こうして無事でいられるのも尊い犠牲があったからこそ。亡き夫の分まで生きていきます。」と追悼のことばを捧げました。

参列者たちは献花台に白い菊の花を捧げ、慰霊塔に手を合わせながら戦没者の安らかな眠りを祈っていました。

白い菊を献花して冥福を祈る参列者

残そう！きれいな海
錦江湾クリーンアップ作戦

海岸に漂着しているゴミを調査回収し、美しい海を取り戻そうと十月三十日、須崎海岸に百人余りの町民が集まり、清掃活動に汗を流しました。

回覧板でこのイベントを知ったという市来原小百合さん（錦江小六年）と妹の果歩さん（同小五年）は両親と一緒に参加。ゴミを拾いながら「こんなにゴミだらけで海が泣いているみたい。」と話していました。

約二時間の作業で集められたゴミは五十袋以上にもなり、調査の結果、空缶やペットボトルなど生活関連のものが多いことが分かりました。参加者たちはきれいな海を未来に残すため、今できることに取り組もうと確認し合いました。

どうしてこんなにゴミが多いのかな

地元記念大会で優勝
加治木ソフトスポ少

創団十五周年記念新星加治木旗争奪少年ソフトボール大会（加治木ソフトボールスポーツ少年団主催）が十月二十三日、加治木小学校など二会場で開催されました。

今年は十五回の節目を迎えたことから、県内の強豪三十チームを招待した記念大会として開催。開会式には高校野球の名門鹿児島実業高校野球部の久保総監督、加治木中学校校長、加治木小学校校長などが出席し、選手たちを激励しました。

大会は予選を勝ち上がった地元、加治木ソフトボール少年団が決勝トーナメントでも実力を発揮。決勝戦では接戦の末、出水中央を二対一で破り、記念大会を優勝で飾りました。

優勝を喜ぶ加治木ソフトボールスポーツ少年団

表彰状を手にする息子の白尾國英さん

「天吹（てんぷく）」の伝承に貢献
県文化財功労者に白尾國利さん

鹿児島県文化財功労者の表彰式が十一月一日、県庁で行われ仮屋町の白尾國利さん（85）に県教育長から表彰状が贈られました。

文化財功労者表彰は、地域の文化財保護に功績のあった個人や団体に贈られるもので、平成十七年度は県内で三人が受賞。白尾さんは、現在も薩摩で四百年以上の伝統を持つ竹製楽器「天吹」の吹奏指導者で、その伝承に尽力されたことが認められ今回の受賞となりました。

十一月七日、白尾さんの二男の國英さんが受賞報告に町長室を訪れ、持参した天吹で二曲披露。趣のある音色があたりいっぱいに響いていました。

故・西清文さんの収集品
龍門司焼など九十点を公開

生前、加治木町本町で眼科を開業し陶磁器の収集を趣味としていた故・西清文さんのコレクション約四百五十点のうち、龍門司焼など約九十点が陶夢ランドのギャラリーに飾られ、十一月一日から「西コレクション」として一般公開されました。コレクションは、故人の「散逸させたくない」との遺志を継いだ家族が昨年十一月、町へ贈呈されていたもの。公開セレモニーで清文さんの息子の龍樹さんは「多くのみなさんの目に触れることになり父も喜んでいるでしょう。」と挨拶しました。

テープカットのあと、一般公開され、オープニングを聞きつけた竜門小学校の児童や町民などが作品に見入っていました。

公開された西コレクション

校区の活性化に役立てて
チャリティーゴルフ益金を寄附

小山田出身者や在住者で組織する地域グループ、オール小山田（井上弘会長七十名）が十一月十三日、第十回チャリティーゴルフ大会を開催し、その益金を竜門小学校へ寄附しました。

年々児童数が減少しつつあることを聞いていた会員たちは、学校をPRする看板の制作費用の足しになればとチャリティーゴルフを企画。三十人の参加者たちは、ふるさとを語り合いながら楽しくプレーしました。

十一月十七日、前会長の犬童照幸さんが竜門小を訪れ、山口洋校長に益金を手渡しました。山口校長は、「ふるさとの学校をいつまでも心配していただき有り難いことです。」と御礼を述べていました。

益金を山口校長に手渡す犬童照幸さん（左）

全国大会ではつらつプレー
ママさんバレーいそじ大会

第十七回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会が十月二十八日から三十日まで、鹿児島アリーナなど二会場で開催され、全国の予選を勝ち抜いた六十四チームが熱戦を繰り広げました。

大会はその名のとおり五十歳以上の女性大会で、鹿児島県代表は七月の県予選で優勝した加治木チーム。全国大会に向けて町内で混成チームを結成し、合同練習を続けてきました。

開会式では加治木チーム主将の上村ノブ子さんが選手宣誓を行いました。試合は残念ながら予選リーグで敗退しましたが、選手たちは「楽しくプレーができて、とてもいい思い出になりました。」とさわやかな笑顔を見せていました。

はつらつプレーが光った加治木チーム

新鮮野菜を買い求める人たち

秋のまつり大盛況
大勢の人出で賑わう

わくわくするイベントを同時に開催し、秋の一日をゆっくり楽しんでもらおうと十一月十三日、第二十七回わくわく健康秋まつりと第二回わくわく加治木っ子まつりが加音ホールと町営運動場で開催されました。

健康秋まつりの会場には、健康チェックを行う健康ひろばやリサイクル品を取り扱うフリーマーケット、地元産の農林水産物や加治木和牛などの店が立ち並び、販売開始前からお目当ての品を買い求める人たちが長い列を作っていました。

加治木っ子まつりには、折り紙や陶芸、白バイ体験試乗など子どもたちが楽しめる十三のブースが設けられ、みんな夢中になって遊んでいました。

町文化交流週間に多彩な催し
作品展示や舞台芸能
生涯学習の成果を発表

町文化交流週間（十一月五日～十三日）初日の十一月五日と翌六日、加音ホールで第三十九回文化祭が開催されました。

五日の開会セレモニーでは、川野威朗町長が「みなさんがかねて研鑽を積まれている生涯学習の発表の場です。展示作品や舞台芸能を大いに堪能してください。」と挨拶しました。

加音アンサンブルの演奏に続き川野町長、徳重町議会議長、法元文化協会会長、柿内教育長がテープカットを行い、ロビーや展示室に飾られた作品が一般公開されました。文化協会会員やかじの木大学の受講生、一般町民が制作した絵画や書道、生け花、盆栽、編み物など、見事な作品がずらりと並び、訪れた人たちはその出来栄えに感心しながら見入っていました。

舞台発表には四十の演目に延べ七百人が出演。日舞や太鼓、ダンスや合唱など、ステージ衣装に身を包み熱演する出演者たちに、会場からは大きな拍手が送られていました。

オープニングを飾った加音アンサンブルの演奏

ステージで熱演する出演者たち

小山田地区むらづくり委員会
九州農政局長賞を受賞

小山田地区むらづくり委員会（前田康徳会長）は去る五月二十七日、熊本市で行われた「豊かなむらづくり全国表彰事業」の審査会に県代表として出場していましたが、審査の結果、十月七日に熊本市で開催された農林水産祭むらづくり部門九州農政局表彰式で九州農政局長賞を受賞しました。

この全国表彰事業は、むらづくりの全国的な展開を助長し、地域の連帯感の醸成とコミュニティーの強化を図り、農林漁業及び農山漁村の健全な発展に資することを目的としています。

小山田地区では、竜門小学校の「児童減少対策委員会」や「小山田ふるさと祭り」など、以前から活発な活動が行われていました。平成八年に農業面から地域活性化に取り組もうと「小山田地域活性化グループ」を結成し、県のむらづくり重点地区の指定を受けました。

平成十五年には県農村振興運動むらづくりコンクールで、自信と誇りのもてるものづくり部門で知事賞を受賞。その後、小山田地区全体でのむらづくりに向けて「小山田地区むらづくり委員会」が結成されました。

表彰状を受け取る前田康徳会長

あれっ？ 変なおじさん
加小で不審者対策訓練

不審者に遭遇した時の対処法を児童に身に付けてもらおうと十一月十五日、加治木小で不審者対策訓練が実施されました。訓練は不審者に扮した加治木警察署員が、下校中の児童に声をかけ車内に連れ込もうとする想定。児童が子ども110番の家に素早く避難すると、その家の人が不審者の特徴や車のナンバーなどを児童から聞き取り迅速に警察へ通報。不審者は間もなくパトカーで駆けつけた署員に取り押さえられました。

訓練には加治木警察署、西姶良地区防犯連合会、子ども110番の家、スクールガードなども参加し、児童の対応などを見守っていました。

不審者には絶対に近づかないように

第40回町内小学校陸上記録会成績

※は新記録

種目	学年	氏名	学校名	記録
100m走	5年男子	竹下 康平	柁城小	14秒3
	5年女子	江口 未珂	加治木小	16秒0
	6年男子	豊 竜誠	加治木小	13秒9
	6年女子	東 史華	加治木小	15秒7
800m走	5年女子	原田 夏妃	加治木小	2分55秒9
	6年女子	蒲地 真帆	加治木小	3分03秒6
1000m走	5年男子	二見 和樹	加治木小	3分47秒0
	6年男子	池上 正瑛	柁城小	3分27秒9
60m障害走	6年男子	濵島翔太朗	錦江小	10秒7
	6年女子	中島みのり	加治木小	11秒2
走り幅跳び	5年男子	稲葉 学志	錦江小	3m89cm
	5年女子	大迫 由佳	柁城小	3m23cm
		福山 泰代	錦江小	
	6年男子	豊 竜誠	加治木小	3m80cm
	6年女子	小原 美雪	柁城小	3m77cm
走り高跳び	5年男子	野下 拓人	加治木小	1m15cm
	5年女子	斉藤 優	加治木小	1m18cm
	6年男子	西田 将李	加治木小	1m28cm
	6年女子	内村 悠希	加治木小	1m15cm
ソフトボール投げ	5年男子	南 達也	錦江小	49m81cm
	5年女子	西山絵梨香	柁城小	※51m80cm
	6年男子	織田康太郎	加治木小	56m12cm
	6年女子	山下絵里奈	柁城小	42m10cm
400mリレー	5年男子	野下 拓人	加治木小	1分03秒9
		井上 誠史		
		内村 周		
		安田 稔		
	5年女子	江口 未珂	加治木小	1分06秒4
		前田 玲奈		
		大野星里菜		
		原田 夏妃		
	6年男子	伊元 大地	加治木小	1分01秒3
		豊 竜誠		
		西田 将李		
		成尾 優晃		
	6年女子	中島みのり	加治木小	1分01秒9
		東 史華		
		鮫島 光世		
		園中 千寛		

町内小学校陸上記録会

児童の体力向上を目的に第四十回小学校陸上記録会が十月二十日、町営運動場で開催され、町内五小学校の五・六年生全員が自己の記録へ挑戦しました。

開会式では柁城小学校六年の池上正瑛くんが、「これまでの記録に挑戦するとともに他校の友達との友情を深めます。」と力強く選手宣誓を行いました。

競技は百メートル走や走り高跳びなど八種目で競われ、選手たちは友達や保護者の声援を受けながら、一生懸命競技していました。

今大会では、ソフトボール投げ五年女子で柁城小の西山絵梨香さんが、これまでの記録を六メートル近く上回る大会新記録を樹立しました。

友だちの声援を受けてジャンプ

かじき情報局 INFORMATION

平成18年度保育所入所案内

町内の保育所では、平成18年度の園児を募集します。

◆**申込用紙**　12月19日（月）以降、役場保険生活課で受け取れます。

◆**受付期間**　平成18年1月10日（火）～1月31日（火）

◆**提出場所**　役場保険生活課生活児童係

◆**入所基準**

・昼間に居宅外で常勤の仕事に就いている方
・昼間に居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の仕事に常勤で就いている方
・妊娠中又は出産後間がない方（産前6週、産後8週）
・疾病にかかり又は負傷し、若しくは精神又は身体に障害を有している方
・同居の親族を常時介護している方
・震災、風水害、火災、その他の災害の復旧にあたっている方

※現在、保育所に入所している方で、引き続き入所希望の方も申込書を提出してください。
申込書は保育所から配布されます。

保育所名	定員(人)	住所	電話番号
加治木保育所	60	諏訪町185－2	62－2560
小山田保育所	60	小山田1386	62－2719
川野保育所	90	木田757	62－2677
高井田保育園	60	木田4872－2	63－5043
実窓寺保育園	60	木田3453－7	63－1914
かずみ保育園	60	反土1420－1	62－0657

問い合わせ先　役場保険生活課 生活児童係　TEL62-2111（内線132）

平成18年度町立幼稚園入園願書受付

平成18年度町立幼稚園の入園願書を受け付けます。

◆**入園願書**　12月12日（月）以降、各町立幼稚園及び教育委員会で受け取れます。

◆**受付期間**　平成18年1月4日（水）～1月13日（金）の午前9時～午後4時。
ただし、7日（土）～9日（月）は除きます。

◆**提出場所**

・加治木幼稚園（仮屋町251　TEL62－2502）
・錦　江幼稚園（木田171－1　TEL63－2038）

◆**募集園児数**

・加治木幼稚園・・・・5歳児（1年保育）若干名
　4歳児（2年保育）35名×2学級
・錦江幼稚園・・・・・5歳児（1年保育）若干名
　4歳児（2年保育）35名×1学級

◆**応募資格**

町内に居住し、昼間家庭に保護者等がいる4歳児と5歳児。
〈4歳児〉平成13年4月2日から平成14年4月1日までの出生児
〈5歳児〉平成12年4月2日から平成13年4月1日までの出生児

◆**その他**

各町立幼稚園で平成18年1月16日（月）に抽選と入園説明会を行います。

問い合わせ先　教育委員会学校教育課　TEL62-2111（内線341）

お知らせ
募集
イベント
講座

お知らせ

法務局サンデー相談所

鹿児島地方法務局霧島支局では、職業を持っている等の理由で休日にしか相談に行けない方のために、日曜相談所を開設します。

○日時　平成18年1月15日(日)
　午前10時～午後4時
○場所　国分シビックセンター
○相談内容　登記、戸籍国籍、供託、人権等に関するもの
○相談員　法務局職員、人権擁護委員、司法書士等
▽問い合わせ先
　鹿児島地方法務局霧島支局
TEL 0995（45）0064

募集

県警安心メール登録会員募集中

鹿児島県警では、子どもたちの安全確保や地域の犯罪防止を図るため、防犯情報を携帯電話に配信する「県警安心メール」を開始します。

地域の安全・安心に関心をお持ちの方の会員登録をお待ちしています。

○会員資格　特にありません。
○登録料及び会費　無料。ただし、一回のメール受信につき、一円から二円の通信費がかかります。
○登録方法
　kp110@123123.tvへ空メールを送信。返信メールのURLをクリックし画面の案内に従って登録してください。

メール受信・拒否設定をされている方は、「123123.tv」のドメイン受信指定をお願いします。

○募集期間　特にありません。
▽問い合わせ先
　県警察本部生活安全企画課
TEL 099（206）0110

液晶テレビ32型などプレゼントキャンペーン中

鹿児島県住宅供給公社では、平成17年12月25日までに加治木団地の分譲土地を成約いただいた方に、液晶テレビ32型などをプレゼントするキャンペーンを実施中です。

○団地名　加治木団地
○区画数　2区画
○分譲価格
・75―1区画（96・18坪）
　787万円
・75―2区画（80・77坪）
　629万円
▽問い合わせ先
　鹿児島県住宅供給公社分譲課
TEL 099（226）7831

1月～3月の乳幼児の予防接種は次のとおりです!

予防接種法改正の施行前につき、平成18年1月・2月も麻しん・風しんの予防接種を実施します。

実施月 / 定期予防接種名	実施の有無 1・2月	実施の有無 3月	備考
麻しん	○	○	大井病院・加治木駅前クリニック・加治木温泉病院・川畑内科・さんのう内科 すこやかクリニック・玉利医院・徳重クリニック・浜崎クリニック 松本外科胃腸科で実施 ※1・2月実施日・時間の変更 〔すこやかクリニック〕水曜日のみ午後2時30分～3時（要予約） 〔玉利医院〕水・木曜日　午前9時～11時と午後2時～4時
風しん	○	○	
BCG	○	○	加治木駅前クリニック・すこやかクリニック・徳重クリニックで実施
日本脳炎	×	○	積極的勧奨接種差し控え中。新しいワクチンを開発中だが，再開は未定
三種混合	×	○	

※平成18年4月1日以降、現行の麻しん・風しんの予防接種（単抗原ワクチン）は定期予防接種の対象外（任意予防接種）となりますので、健康被害が起きた場合は国の補償対象となりません。希望者は平成18年3月31日までに接種しましょう。

問い合わせ先　役場健康福祉課　TEL 62-2111（内線 502）

平成18年加治木町成人式

日　時：平成18年1月8日（日）午前10時～　会場：加音ホール
対象者：昭和60年4月2日から昭和61年4月1日までに生まれた人で、加治木町に在住している人、又は在住していた人

問い合わせ先　教育委員会社会教育課　TEL62-2111（内線321）

寄稿

平成十七年度東京加治木会総会

於里出身　壱岐健志

東京加治木会（長谷場純一会長）総会が十月十五日、品川区の三州倶楽部に約六十人が参加して開かれました。今回は町側から川野威朗町長をはじめ徳重武秀町議会議長、寺師秀孝総務課長らが出席しました。

まず町長がふるさとの現況を次のように説明されました。

平成十五年四月に設置された加治木、姶良、蒲生の三町による姶良西部合併協議会は二年間に渡って話合いを続けてきたのに、去る三月の協議会で解散となりました。結局、三町合併は不成立となりましたが、県知事は三町合併の構想に基づいてあっせんや調停、勧告を行うことができることから現在、知事の勧告待ちというところです。

徳重町議会議長は、合併の不成立を簡単に述べてから、これからの町の行財政の集中改革、つまりスリム化を目指しての構想について説明しました。

出席者の間から「三町合併は流産となったが、時代の流れに乗り遅れないように加治木町の今後に全力投球して欲しい。」との声がありました。

ふるさとの現況を語る川野町長と話しに聞き入る参加者

続いて懇親会に移り、元会長の犬童秀孝さんの音頭で乾杯。町長の手土産のつけ揚げ、地元の焼酎、加治木まんじゅうなどが披露されました。

今回の出席の中で男性の最高齢は八十五歳の犬童さん、女性は妹の永山孝子さん八十二歳の兄妹（諏訪出身）でした。久しぶりの対面にみんな昔話に花を咲かせたり、近況を述べ合い、懐かしい話題が尽きませんでした。「マタ、デネンモオモソナー。ソイジャ、ミンナサァ、オゲンキデー」と足どりも軽く散会しました。

◆町施設の年末年始営業日のお知らせ◆

○営業　×休業

施設＼月日	12月26日（月）	27日（火）	28日（水）	29日（木）	30日（金）	31日（土）	1月1日（日）	2日（月）	3日（火）	4日（水）	5日（水）
役場	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
加音ホール	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
陶夢ランド	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
椋鳩十文学記念館	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
ふれあい物産館	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
龍門滝温泉	×	○	○	○	○	○ 18時まで	○ 18時まで	○ 18時まで	○ 18時まで	×	○
さえずりの森	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
郷土館	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
図書館	電算化準備のため、平成17年2月末日まで臨時休館中										
トレーニングセンター	×	○	○	○	○	12月31日以降閉館					

婚姻・出生・死亡の届け出は、12月29日～1月3日は宿直室で受け付けます。

寄稿

戦争体験記・・・・ 私が過ごした辛苦の青春

田中長寿会 篠 崎 秀 夫

（高等科整備術練習生卒業時）

海ゆかば　水漬くかばね
　山ゆかば　草むすかばね
　　大君のへにこそ死なめ　かえりみはせじ

海ゆかばの和歌を胸に刻み、昭和13年佐世保海兵団に勇躍入団。この頃支那大陸全土で、陸海軍は激しい戦いをしていた。入団と同時に四等機関兵として陸軍同様の陸戦訓練・カッター訓練・蒸気汽缶に石炭投入の訓練・手旗信号訓練等の猛訓練を5か月半受けた。11月15日、軽巡洋艦「川内」に乗艦を命ぜられた時は、胸躍る感動の一瞬であった。しかし艦は中支南京で作戦中だったため、佐世保から徴用船で上海へ。上海から南京まで鈍行列車で行き、やっと「川内」に乗艦したが、間もなく佐世保に帰港する事になった。佐世保入港後第1艦隊に編入され、第21水雷戦隊の旗艦となり、司令官（少将）が乗艦された。途端に軍律が厳しくなり、我々新兵は毎晩軍人精神注入棒なる樫の木刀で気合を入れられた。

何しろ乗員300人の中の最下位の三等兵である。夜遅くまで上官の作業服の洗濯や靴磨き・食器磨きを終えて釣り床に入るのは毎晩12時前で、天に向かって涙を流した事もあった。心身ともにすり減っても負けてなるものかと精一杯頑張った。艦隊訓練中高知の宿毛基地で同年兵の一人が投身自殺をしたという悲しい出来事も起きた。苦しく、つらい毎日の連続で、我が身につまされて亡き友の気持ちが思いやられた。

昭和14年8月横須賀整備学校入学のため退艦。昭和15年2月、卒業と同時に高雄空に配属され整備兵となる。6月中旬、中支漢口に進攻命令が下った。敵の拠点、成都・重慶を攻撃する目的である。

漢口の夏は屋根の上の雀が焼け落ちると言われる程の猛暑の地である。下痢と高熱に悩まされながら頑張り通し、一応の戦果を上げて帰還した。訓練中に紀元2600年記念として東京湾で連合艦隊、航空戦隊の大観艦式が挙行された。天皇陛下が御観閲される御召艦の上空を大編隊で飛んだ事が私の海軍生活中最も尊い名誉な記憶として今でも鮮やかに脳裡に残っている。

昭和15年秋頃から連合国（米・英・オランダ）との話し合いが不穏の方向へと移ってゆく。我軍は連合国との開戦を目標にした戦備態勢を整え連合艦隊、航空戦隊共に実戦に備えた猛訓練の毎日であった。高雄空も九六陸攻から一式陸攻へ機種を変更し戦力を強化したのである。

昭和16年12月8日愈々開戦した。我々の隊も翌日は比島のホロリ基地に進駐。私も受持機でペリリュウ、ルオットと飛び廻り、17年2月21日、ラバウルへ進撃した。4月中旬ニューギニアのラエに陸軍部隊と共に進攻したが敵機動部隊の猛襲に遭い、数十日後ラバウルへ帰還。しばらく平穏な日が続いたが、7月に入りソロモン海沖に敵機動部隊発見の情報が入り、司令（大佐）は直ちに全機に出撃命令を下した。搭乗員は受持機に飛び乗り、南の空へと飛び立って行った。これが最後の別れになろうとは。出撃三時間後にはソロモンの海に火の玉となって散華したのであった。手足をもぎ取られた様な私たちは、9月に再編成のため徴用船で内地に帰還する事になった。敵潜水艦に追い廻されたが、九死に一生を得て無事木更津に着きほっと一息した。攻撃機再編中、又々横須賀の整備術の高等部に入校する事になり、実戦部隊と別れる事になった。

昭和18年6月、卒業と同時に南支那の二五四航空隊に配属となり、艦上攻撃機の整備班長として責務を完うしましたが、その間、人事面で苦しい思い出があります。それは、年をとった身体も一人前でない補充兵が妻子を残して戦地に来た事です。悲哀を感じました。

断腸の思いで敗戦の玉音を聞くまでの軍籍7年6か月の歳月を経て復員したものの、戦死した軍人・軍属、原爆で命を落とされた人々を思う時、二度と悲惨な戦争をしてはならない、平和な国でなければならないと思いました。

現在日本は経済大国となり、金さえあれば何一つ不自由する事のない平和な国になりましたが、最近の世相を省みますと連帯感は失われ、自己本位の人が充満しているようです。又全国至る所で凶悪犯罪が続発しています。日本の輝かしい伝統ある文化も失われるのではないかと心配しています。若い青少年達に大きな希望を持って、明日の日本をしっかり守ってくれと叫びたいです。

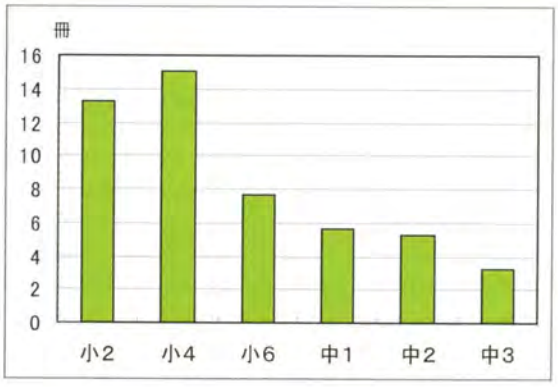
註1　巡洋艦「川内」は川内市の新田神社の守護艦でありました。昭和18年8月ニューギニア沖の海戦で沈没しました。私も9か月間鍛えられましたので感慨一入の念に堪えません。

2　この体験記はあまりにも自己主体の記述になってしまいました。御容赦の程お願い致します。

教育委員会だより

本好きな子どもに育てましょう

右のグラフは、町内の児童生徒が読書月間である10月に自宅や学校で読んだ本の平均冊数です。読書量はかなり多いほうだと思われますが、学年が進むにつれて読書の量が減少していくことは傾向として表れています。子どもたちの豊かな心を育むためには、読書に親しむ態度を育成し、読書習慣を身に付けさせることが大切です。1冊の本との出会いが、子どもの生き方を豊かにしていくこともあります。家庭でも、身近に本を置き、本好きな子どもに育てていきたいものです。



学校参観週間終わる

（グラウンドゴルフで高齢者と交流する竜門小児童）

10月25日から11月14日まで、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」が実施されました。この間、各学校ではさまざまな行事を実施し、多くの皆さんの参加をいただきました。竜門小学校では全学級で道徳の授業の一般公開や地域の高齢者を招いてのグラウンドゴルフ大会、錦江小学校では給食試食会を開催しました。加治木幼稚園と錦江幼稚園では焼いも大会、永原小・加治木小・柁城小では手話ミュージカルも開催しました。加治木中学校の文化祭がフィナーレとなりましたが、今年も多くの参観があり、有意義な県民週間になりました。学校と連絡をとっていただいて、日常の参観もぜひお願いします。

教育委員会主催行事スナップ

[わくわく加治木っ子まつり]（折り紙教室）

町民文化祭から始まった本年度の文化交流週間の最後の催しである「わくわく加治木っ子まつり」が11月13日開催され、多くの子どもたちでにぎわいました。折り紙を習う子どもたちの集中した姿が印象的でした。

[来年度入学児のための就学時健康診断]

1年生への期待に胸ふくらませた就学前の子どもたち、6年生のお兄ちゃんお姉ちゃんに手を引かれ、健診に臨みました。姿勢も態度もしっかりしていました。

（柁城小学校の健診）

●来年度就学予定者数

柁城小	錦江小	竜門小	永原小	加治木小
65	56	8	5	68

シリーズ No.45

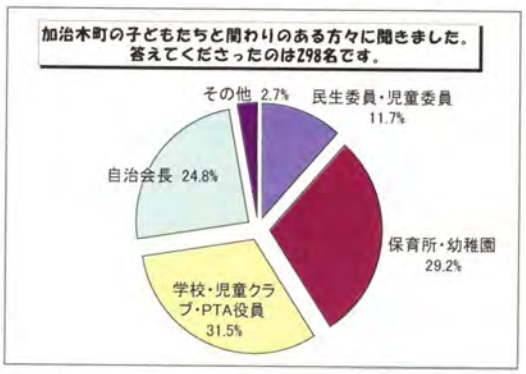
ジェンダー(社会的文化的に作られた性差)からの解放は男女共通のテーマです。

男女共同参画

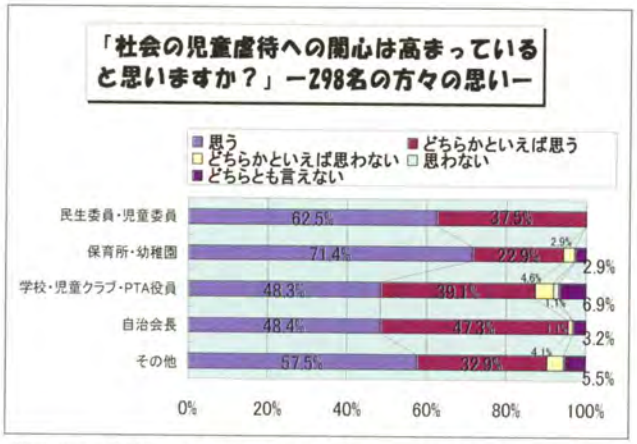
《子どもの笑顔をみんなで守ろう!!》 《気づいたら 支えて 知らせて 見守って》

周りが気づかずに、誰がこの子を虐待から救えるでしょう！

11月の児童虐待防止推進月間中、関係者の方々にアンケートを実施し、13日は加音ホールで開催された「加治木っ子まつり」でパネル展示をしました。児童虐待防止の環境づくりを進めるため、また子どもを虐待から守るため「おかしい」と感じたら迷わず連絡（通告）を！ひとりで抱え込まないで！虐待はあなたの周りでも起こりえます！



民生・児童委員や保育所・幼稚園、学校・児童クラブ・PTA役員、自治会長など、かねて子ども達と接する機会の多い方々298名（482名配布，回収率61.8％）の御協力をいただきました。



「思う」「どちらかといえば思う」をあわせると91.9％です。ー加治木町児童虐待防止のアンケートからー

（次号にもデータを掲載予定）

加治木っ子まつりでの展示

どんな理由でも虐待は許されません。「しつけのつもり…」は言い訳です。

まつりの日、子どもたちの楽しげな笑顔がいっぱいでした。

男女共同参画推進を学ぶ！加治木町推進懇話会を視察

10月27日、宮崎県清武町から視察に来町。男女共同参画について熱心に討議、交流しました。

「新しい価値の創造」男女共同参画推進講座生募集

●「男だから/女だから」ではなく、ひとりの人間としての人権を大切にしていく社会のために、4回の講座で考えてみませんか？

日 ：12/20、1/17（たもつゆかり氏）
「農業の場における男女共同参画」
2/21、3/21（久永繁夫氏）
「高齢者とともに生きる地域づくり」

時間：午後7時～9時（4回とも）　場所：福祉センター

問い合わせ先　総務課男女共同参画係 62-2111（内281）

● 子ども虐待の通告や相談　相談専用電話 62-2230　役場 62-2111も可

● 無料女性相談　毎週火曜日 9:00～12:00　電話相談・面接相談もできます。

相談専用電話 62-2230　役場62-2111(281)も可。秘密は固く守ります。

竜門句会

玉砕の意味孫に説く秋夜長　川畑　克己
落葉焚く寡黙な父の浪花節　春田理恵子
百二歳母息災の小春かな　神村　洋子
屋根普請軽きリズムの秋日和　竹山　洋子
熱燗や親子の絆ふくらめり　宮脇　弘
神代より男は端役鵜鳴けり　脇本　星浪
独房へ栗熟れたよと母と文　郡山マサ子
こすもすの花より高原はじまりぬ　園田　千秋
夕茜仕事しまひの野良着染む　酒匂　君江
灯下親し手摺れ歳時記膝の上　岩田美知江
湖に跳ねるものなし鰯雲　藤崎　文庫
日輪のうすうすとして冬に入る　稲恒　寧夫
公園にギターの音流し影長し　田代　俊泉
腕まくりして腕相撲冬に入る　藤原　壽子
石榴裂く今は空き家となりし庭　犬童　利春
寒の入り洋式便座に教えられ　中村　勉
年金の不正は悲し水澄みて　松田　藤人
野菊晴れ敵味方なき供養塔　川崎　黒兎

郷土館コーナー

東良助交遊文翰（巻物四巻）

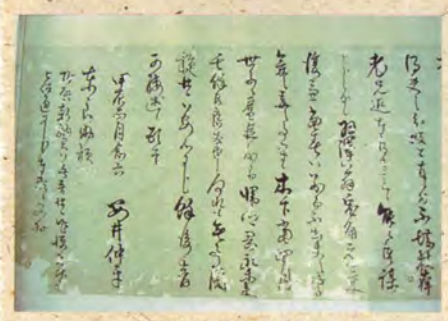
昭和45年町指定文化財

安井息軒など幕末から明治初年にかけての日本各地の儒学者たちとの交遊書簡集

東良助は享和三（一八〇三）年生まれ、安政五（一八五八）年に五十六歳で死去。観音寺墓地。名は秀梢、字千尺、通称良助。書斎を耕読堂と称した。毓英館館長（明治元年）。加治木島津家九代久長公侍読。三十二歳の時、安井息軒（38歳）に霧島で出会い、研鑽を積む。東良助の性格は「重厚沈黙一面の際春風和気の中に接する」とある。巻物には、篠崎長左衛門（大坂）、落合敬助（飫肥）、河添行充（出水郷士）等、約三十名の多彩な手紙文があり、内容を詳細に検討すれば学者の思想、幕末の世情激変期の一端が理解できるかもしれない。

良助の高弟である新納時成の『新納仲左衛門翁日記』には、「安政五年九月十七日、今日非礼として重之内八樽とソバ十桶を太郎左衛門殿宅へ届ける。拙者は淋しき故東先生生存中に懇の衆相誘い夜中まで相咄候」と書いている。安井息軒は、宮崎県清武町が生んだ幕末の大儒学者。江戸で塾を開き、谷干城、陸奥宗光ら多くの逸材を育成。『送曽木君游江戸序』（東良助先生遺稿）等々は、難漢文のため解読者がほしい。

（上園正人論文参照）



安井息軒の手紙

「初市」の開催日を変更！

来年は3月4日(土)・5日(日)に開催

毎年3月2日・3日に行われていた「初市」は、来年から3月の第1土曜日とその翌日に開催されます。

うぶ声

出生児　保護者　自治会

青木　響輝（ひびき）　基暢　下浜
濵田　龍志（りゅうし）　信司　西塩入下
福崎　朋実（ともみ）　幹俊　西塩入団地
楠元　なつき（なつき）　忠修　小鳥
新城　成海（なるみ）　巧　原ノ門
上枝　稔生（みつき）　武弘　楠園
溝口　慧（けい）　公蔵　楠園

▼11月15日までに住民台帳に記載された方を掲載しました。

御寄附

香典返しの代わりに御寄附をいただきました。厚く御礼申し上げますとともに故人の御冥福をお祈りいたします。

（　）は故人

◆社会福祉協議会へ◆

下新道　吉村　照子（夫　靖正66）
伊部野　日高　鉄夫（母　シヅ子85）
反土黒川　木場　秀一（父　節雄86）
萩原　香川　為雄（母　サダ98）
今町　丸岡　千恵子（夫　順一郎80）
新中　上水流　ナミ子（夫　利雄91）
高井田　後藤　末子（夫　巖83）
徳永　野老迫　隆（母　末子87）
川原　原口　敏子（夫　正79）
岩原東　福丸　俶子（夫　親則80）

▼11月15日までの御寄附を掲載しました。

12月・1月　医療機関在宅医表

都合により変更になる場合がありますので、必ず事前に御確認ください。

月	日		医療機関	所在	電話	医療機関（小児科）	所在	電話	医療機関（眼科）	所在	電話
12月	11	(日)	さんのう内科	加治木	63-3000	いかりこどもクリニック	国分	48-5858	西眼科医院	加治木	62-2526
	18	(日)	松本外科胃腸科	加治木	63-1911	国分生協病院	国分	45-4806	椎原眼科医院	隼人	43-1050
	23	(祝)	加治木駅前クリニック	加治木	62-2222	きたはらこどもクリニック	国分	64-0677	青雲病院眼科	姶良	66-3080
	25	(日)	すこやかクリニック	加治木	62-0308	すこやかクリニック	加治木	62-0308	青雲病院眼科	姶良	66-3080
	29	(木)	吉満内科クリニック	隼人	42-8880	あいら小児科	姶良	66-0115			
	30	(金)	梶原内科	国分	47-3363	きたはらこどもクリニック	国分	64-0677	渡辺眼科クリニック	国分	45-6888
	31	(土)	協愛病院	国分	45-6211	あいら小児科	姶良	66-0115			
1月	1	(祝)	加治木温泉病院	加治木	62-0001	いかりこどもクリニック	国分	48-5858			
	2	(月)	ザ王病院	加治木	62-4611	国分生協病院	国分	45-4806	いちち眼科	国分	47-3618
	3	(火)	大井病院	加治木	63-2291	かわの小児科	隼人	42-8866	神村眼科	姶良	64-5556
	8	(日)	港町クリニック	加治木	63-9791	たちくら小児科	国分	47-1211	隼人福島眼科	隼人	64-2940
	9	(祝)	佐藤医院	溝辺	59-2607	佐藤医院	溝辺	59-2607	西眼科医院	加治木	62-2526
	15	(日)	川畑内科	加治木	63-1499	川畑内科	加治木	63-1499	椎原眼科医院	隼人	43-1050
	22	(日)	壱岐医院	溝辺	59-2019	壱岐医院	溝辺	59-2019	青雲病院眼科	姶良	66-3080
	29	(日)	徳永医院	溝辺	58-2302	希望ケ丘病院	姶良	65-3207	田中眼科医院	姶良	65-3986
診療時間			午前9時～午後5時			午前9時～午後5時			午前9時～午後1時		

12月は 固定資産税（第4期） 都市計画税（第4期） の納期です

納期限（12月26日）までに納めましょう。

納税は手軽で便利な口座振替で！手続は預金口座をお持ちの銀行や農協等で。
申込みから振替開始まで約1か月を要します。

問い合わせ先　税務課　TEL 62－2111（内線101～105）

加治木町広報紙 かじき 12月号
平成17年12月発行 加治木町役場総務課
〒899-5294 鹿児島県姶良郡加治木町本町253
TEL 0995(62)2111

カメラでパチリ

こんなもの あんなもの

揚げたての天ぷらは人気商品（わくわく健康秋まつり）

長年、民生委員・児童委員に従事されている永井チリ子さん（左）と原口道子さん（右）に県知事から表彰状が贈られました。

新しく相談・苦情解決第三者委員となった上村正和さんに辞令が交付されました。

コンクリートのすき間から芽を出し実をつけたスイカ（於里公民館）

「暮らしのカレンダー」の訂正をお願いいたします。

３月に各家庭へ配布いたしました「暮らしのカレンダー」に誤りがありました。
深くお詫び申し上げますとともに、次のように訂正をお願いいたします。

訂正箇所・・・・来年３月のページ

	（誤）	（正）
春分の日	３月２０日（月）	３月２１日（火）

御迷惑をおかけして申し訳ございません。

点線の部分を切り取り、カレンダーの訂正箇所に貼りつけてください。

キリトリ

20	春分の日 21

この広報紙は再生紙を使用しています。